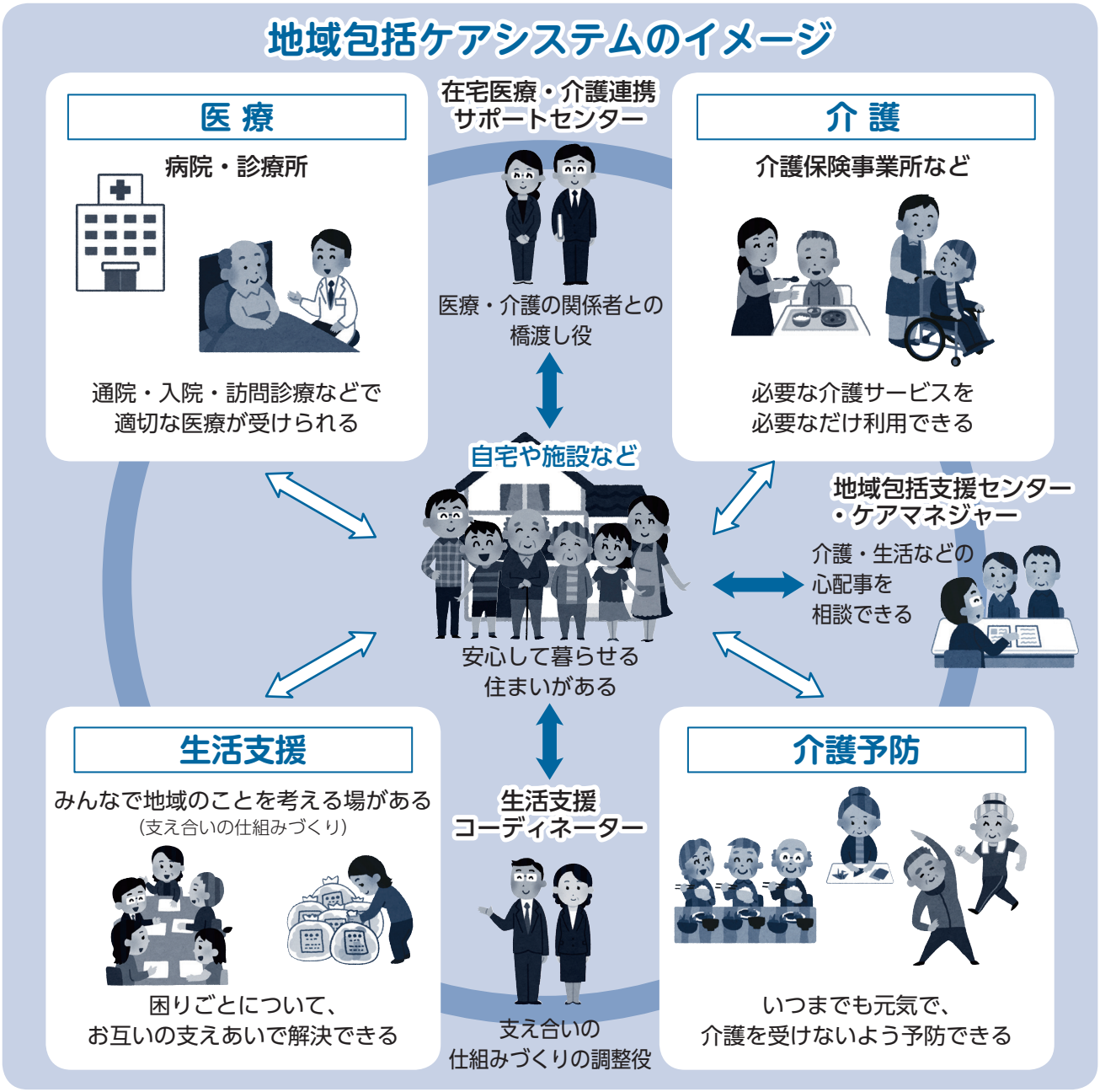
いつまでも住み慣れた場所で暮らすために

皆さんは、心身機能が低下して介護が必要になった時、どこで暮らしたいでしょうか。「住み慣れた場所でいつまでも暮らし続けたい」と思っても実際には、家族への負担を考えて自分の望む場所ではないところでの生活を選択しなければならない人も多くいます。

皆さんが希望する場所で安心して暮らし続けるためには、まず、元気なうちから人生の最期をどこで迎えたいかを考えておくことが大切です。また、それを家族やかかりつけ医など周囲にも相談し、理解して協力が得られるように準備することも重要です。さらに、皆さん一人ひとりが支える側として活躍し続けられるよう介護予防に取り組むことや、近所同士のちょっとした困りごとを解決する支え合い活動をしていくことも、住み慣れた場所で生活を続けられる地域づくりにつながります。

市では、医療や介護の関係者が皆さんの選択を実現できるよう連携して支援する体制を整えていくとともに、介護予防や地域の支え合い活動にも取り組んでいきます。自分の選択を実現するために、できることから始めてみませんか。



地域包括ケア市民向け研修会

みんなで考える 地域包括ケア

住み慣れた場所で最期まで暮らすためにできることを学びましょう。

と　き　9月29日（土）　午後2時～4時
ところ　市民会館東ホール
定　員　300人　※申し込み不要、参加費無料
講　師　厚生労働省　東海北陸厚生局　地域包括ケア推進課　佐々木 忠信
国立研究開発法人　国立長寿医療研究センター　在宅連携医療部　後藤 友子